

JAPAN BASKETBALL STANDARD 2025

目次

- 1.** JBS の理念・概要
- 2.** 2015 年以降の主なできごと
- 3.** JBS2016・JBS2021 におけるビジョン
- 4.** JBS2021 における 2024 年と 2030 年の目標
- 5.** 2024 年目標の振り返り
- 6.** 2030 年に向けてのマイルストーン
- 7.** 2030 年のあるべき姿
- 8.** あとがき

付録

『JAPAN BASKETBALL STANDARD 2025 ビジョンマップ』

1. JBSの理念・概要

「JAPAN BASKETBALL STANDARD」(JBS)は、日本のバスケットボールの未来を輝かせるために、バスケットボールに関わるすべての人が『バスケで日本を元気に!』というひとつの理念に向かい、ひとつのチームとして持つべき「志」、目指すべき「目標」、行うべき「行動」を示したものです。

2016年4月、JBA設立100周年となる2030年を見据え「JBS2016」を策定しました。それは、日本のバスケットボール界がひとつのチームとして未来へ進むための第一歩となりました。

その後2021年には、時代の変化と向き合いながら2024年・2030年のGOALを再定義し「JBS2021」を策定。近年では男女日本代表のオリンピック連続出場、3x3男女日本代表の東京オリンピック入賞、FIBAワールドカップ2023の盛り上がり、B.LEAGUEの発展、海外リーグでの日本人選手の活躍、審判・指導者の広がりなど、日本のバスケットボール界は目覚ましい成長を遂げてきました。

この成果は選手たちのたゆまぬ努力、指導者やスタッフの真摯な取り組み、さらには審判や運営に携わる方々などの大会を支えてくださる皆様をはじめ、各クラブ・チーム、都道府県協会、パートナーの皆様、そして何よりも温かい声援を送り続けてくださったファンの皆様と、関わってくださったすべての方々の多大なるご支援とご尽力の積み重ねがあって実現することができたものと認識しています。

しかし、バスケットボール界も少子高齢化や働き方改革など日本を取り巻く社会課題に直面しており、「JBS2021」で定めた指針以上に地に足を着けた力強い成長が求められています。だからこそ再びJBSを見つめ直し、達成できたことやまだ実現に至っていないこと。そのすべてをふまえ、日本のバスケットボール界が歩みを止めず持続的にさらなる成長を遂げて未来へとつなぐため「JBS2025」を策定します。

ここに描いた目標を現実のものとするためには大きな力が必要です。JBAはB.LEAGUE、W.LEAGUE、都道府県協会、各種連盟、パートナー、ファンの皆様や地域の皆様などすべてのバスケットボールファミリーの皆様と力を合わせ、より良い日本のバスケットボールの未来を創り上げてまいります。



2016年から掲げているこの言葉には、「日本中でバスケットボールを楽しむ人が増え続けること、その人たちが楽しめる環境が充実していくこと、そしてその中から日本代表選手が生まれ日本人選手が世界で活躍すること。そういった様々な活動を通じて日本社会を元気にしていくこと」という想いが込められています。

2. 2015 年以降の主なできごと

2015 年	JAPAN 2024 TASK FORCE 設置 国際バスケットボール連盟からの資格停止処分解除 FIBA アジア女子選手権大会 優勝 (リオデジャネイロオリンピック出場権獲得)
2016 年	リオデジャネイロオリンピック 女子日本代表 8 位入賞 (12 年ぶりの出場) 男子プロバスケットボールリーグ『B.LEAGUE』開幕 JAPAN BASKETBALL STANDARD 2016 策定
2017 年	FIBA 女子アジアカップ 優勝 日本社会人バスケットボール連盟設立 47 都道府県バスケットボール協会の法人格取得完了
2018 年	FIBA 女子ワールドカップ 第 9 位 (3 大会連続出場) 日本障がい者バスケットボール連盟設立 D-fund (Development-fund) 制度開始
2019 年	FIBA 女子アジアカップ 優勝 FIBA ワールドカップ 第 31 位 (13 年ぶりの出場) キッズインストラクター (現キッズサポーター) 養成制度の新設
2021 年	FIBA3x3 オリンピック予選 (3x3 女子日本代表東京オリンピック出場権獲得) 東京オリンピック 女子日本代表 銀メダル (2 大会連続出場) 男子日本代表 第 11 位 (44 年ぶりの出場) 3x3 女子日本代表 5 位入賞 (初出場) 3x3 男子日本代表 6 位入賞 (初出場) 東京パラリンピック 車いすバスケットボール男子 銀メダル FIBA 女子アジアカップ 優勝 (大会 5 連覇) U18 日清食品ブロックリーグ新設 Jr. ウインターカップ U15 選手権大会新設 JAPAN BASKETBALL STANDARD 2021 策定
2022 年	FIBA 女子ワールドカップ 第 9 位 (4 大会連続出場) U18 日清食品リーグ新設 スポーツくじ WINNER バスケットのスタート (日本スポーツ振興センター)
2023 年	FIBA ワールドカップ 沖縄グループステージ開催 FIBA ワールドカップ 第 19 位 (パリオリンピック出場権獲得)
2024 年	FIBA 女子オリンピック世界最終予選 (パリオリンピック出場権獲得) パリオリンピック 男子日本代表 第 11 位 (48 年ぶりの自力出場) 女子日本代表 第 12 位 (3 大会連続出場) パリパラリンピック 車いすバスケットボール女子 7 位入賞
2025 年	JAPAN 2024 TASK FORCE モニタリング終了

3. JBS2016・JBS2021におけるビジョン

2030年の目標として、JBS2016では「強く」「広く」「社会のために」の3つのビジョンを掲げ競技普及の基本となる指針を策定し、今日の成長の基盤となる土台を示しました。

またJBS2021では、JBSの第2フェーズの指針として「SMILE」「STAR」「DREAM」「TEAM」の4つのビジョンを定め、コロナ禍の逆境を乗り越え更なる成長のため達成すべき目標と戦略的に取り組む領域を定めました。

JBS2016

JBS2021

SMILE / STAR / DREAM / TEAM が溢れる未来

強く

- 競技を強くする
- 組織を強くする
- 事業を強くする

SMILE

最も笑顔を生み出すスポーツ No.1 となり、バスケを通じて生まれた笑顔が日本に活力を与える世界

広く

- 仲間を広げる
- 楽しさを広げる
- 支援の輪を広げる

STAR

世界に通じる魅力を有するスター選手を10人以上出し続け、日本中が世界へのチャレンジにワクワクする世界

社会のために

- スポーツ文化／アリーナ文化の振興に寄与する
- バスケットボール／スポーツを通じて地域社会に貢献する
- バスケットボール／スポーツを通じて国際理解の促進に寄与する

DREAM

世界に誇る「バスケで魅了する夢の都市」が47都道府県に存在し人々・文化・経済が活性化された世界

TEAM

「憧れの業界 No.1」として、バスケに関わる人々が互いにリスペクトし、イノベーションを生み、世界で活躍している世界

4. JBS2021における 2024年と2030年の目標

2021年には2016年から2020年のJBS2016の振り返りを行い、事業拡大、収益向上、認知向上など、バスケットボールの価値をさらに高め競技者などの関わる方をより強く支えるために、事業として成り立たせる必要性を再認識しました。

しかし2020年以降、新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的大流行により東京オリンピックの一年延期や人々の生活様式の変更を余儀なくされる中、バスケットボールは歩みを止めず、楽しみが奪われた人々の日常に夢や希望を取り戻し日本を勇気づけていくことの重要性を感じ、『バスケで日本を元気に!』という言葉の持つ意味を再確認しました。

これらの背景から、JBS2021では「SMILE」「STAR」「DREAM」「TEAM」の4つが溢れる未来を描き、2024年さらには2030年に達成すべき目標と戦略的に取り組む領域を定めました。

2030年目標

SMILE

- ・「する」「好きな」スポーツ No.1
- ・「観る(来場・視聴)」スポーツとしての3位以内

STAR

- ・海外で活躍するレベルの選手10名以上
- ・オリンピック連続出場+決勝トーナメントでの躍進

DREAM

- ・夢のアリーナの整備(15ヶ所以上)
- ・2029年男子アジアカップ・2030年女子World Cup 招致

TEAM

- ・バスケット事業規模 600億円(プラス成長維持)
- ・働きたいスポーツ界 No.1

2024年目標

- ・代表認知度の向上

- ・海外で活躍できるレベルの選手10名
- ・Paris2024 出場 / 上位進出
- ・LA2028 出場への強化

- ・国際大会招致(含む2023男子World Cup 沖縄予選成功)

- ・事業規模 拡大

- ・登録者 80万人

- ・世界で活躍できる選手輩出に向けた整備
- ・部活動/B.CLUB/街クラブ一体型の大会整備

- ・事業領域 拡大

- ・成長計画策定およびスタート(事業化準備)
- ・ガバナンスコードの浸透

- ・入場者 350万人
- ・視聴文化の確立

- ・ユース(U18&U15)環境整備

- ・将来構想具体化
- ・社会的価値向上

- ・事業規模 370億円

日本代表

普及育成

成長領域

B.LEAGUE

日本代表

普及育成

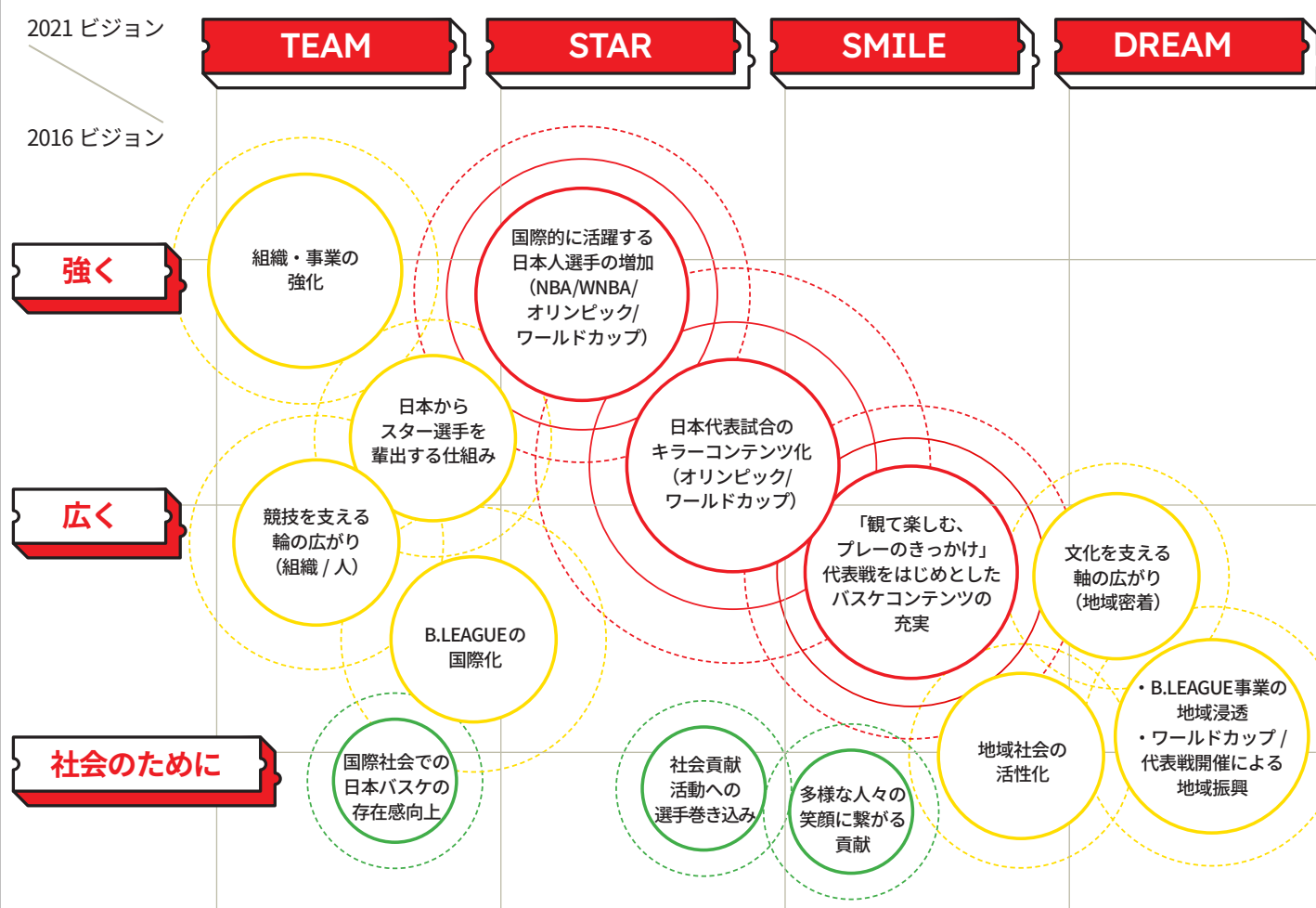
成長領域

B.LEAGUE

5. 2024年目標の振り返り

JBS2021の振り返りでは、JBS2016のビジョンとあわせて縦軸と横軸に配置し、クロスレビューを行いました。達成状況は円を使って視覚的に表しています。

円の大きさは「そのビジョンがどれだけ広がりをもって実現されたか（影響の広さ）」を示しています。



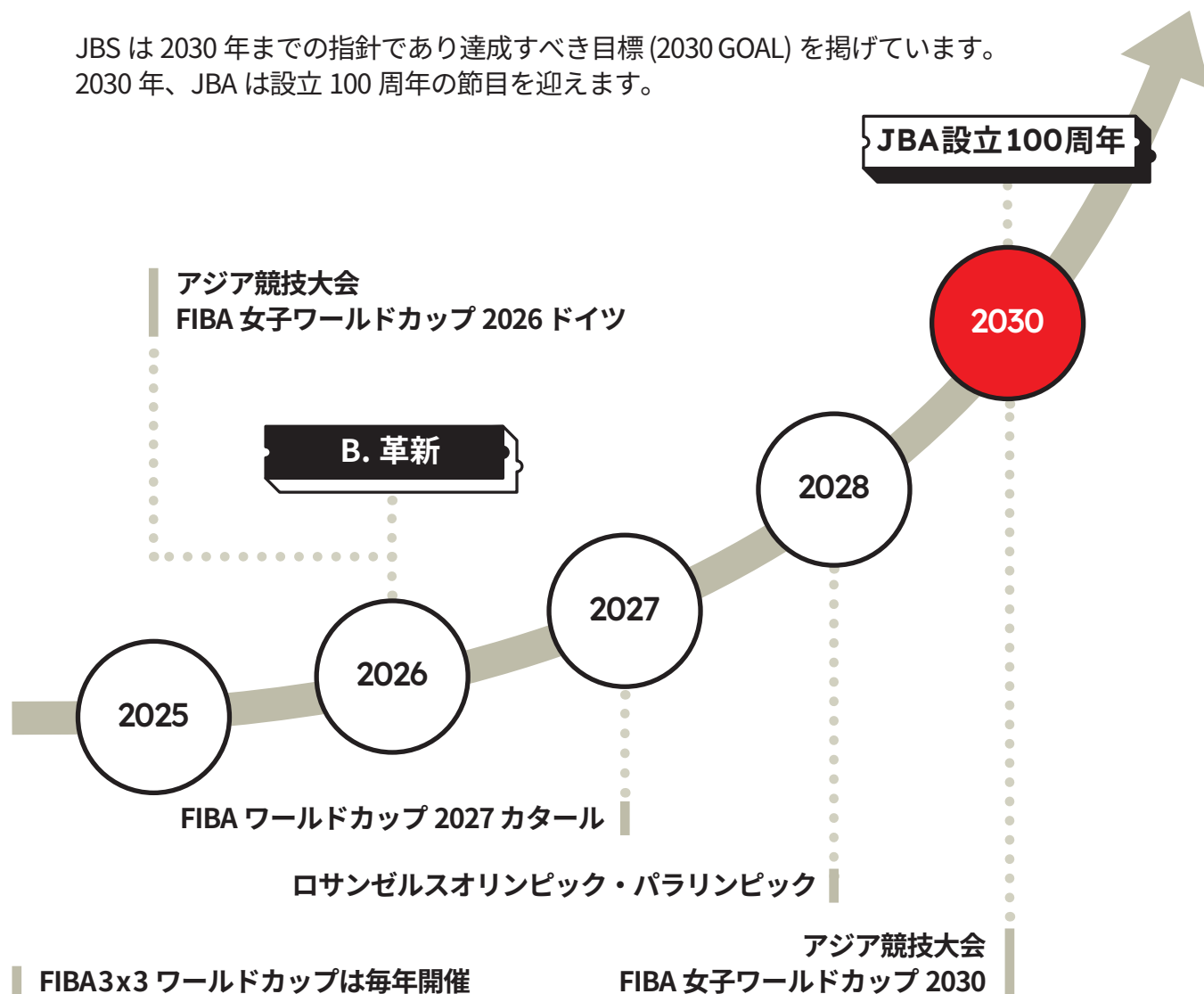
バスケットで日本を元気に！
競技・事業としてのバスケの活性化



バスケットで日本を元気に！
社会の活性化／バスケのある暮らし

6. 2030年に向けてのマイルストーン

JBS は 2030 年までの指針であり達成すべき目標 (2030 GOAL) を掲げています。
2030 年、JBA は設立 100 周年の節目を迎えます。



目まぐるしい時代の変動の中、人口減少や少子高齢化、働き方改革といった社会環境の変化への対応や、競技だけでなく多様な側面からのアプローチを強化し、より幅広い層にこのスポーツの魅力を伝えバスケットボールファミリーの拡大と定着を図ることが求められます。また、バスケットボールが有する社会的価値を最大化し、これまでの成長の恩恵を社会に還元する取り組みを推進していく必要があります。

「JBS2025」は、2030 年の節目に向けてこれまでの成長を一過性のものとせず、持続的なものとするため歩んでまいります。

7. 2030年のあるべき姿

JBS2025 ビジョンフレーム（全体像）

バスケで日本を元気に！

3つの領域 / THREE CORE DOMAINS

SPORTS：競技と組織

CULTURE：文化

SOCIETY：社会

キーワード / KEYWORDS

夢 / 憧れ / 感動 / 誇り / 安心・安全

笑顔 / 楽しむ / 日常 / コミュニティ

持続可能 / 共生・共栄 / ウェルビーイング

3つの共通概念 / THREE COMMON VALUES

DIVERSITY & INCLUSION：多様性と包括

COMPLIANCE & INTEGRITY：法令順守と誠実さ

DIGITAL TRANSFORMATION：デジタル変革

6つの関わり方 / SIX AREAS OF PARTICIPATION

**ON THE COURT
(競技)**

**ORGANIZATION/
INDIVIDUAL
(組織・個人)**

**PLAYSTYLE
(プレイスタイル)**

**LIFESTYLE
(ライフスタイル)**

**PEOPLE/
ENVIRONMENT
(人・環境)**

**LOCAL/
INDUSTRY
(地域・産業)**

36の行動・状態 / 36 TARGET ACTIONS AND STATES

日本代表が世界の
強豪でありつづける

バスケットボール
ファミリープライド
の醸成

一生バスケに
関われる

視聴トップコンテ
ンツになる

バスケを通じて交
流・活力が生まれ
健康寿命が延びる

バスケ界が新しい
ビジネスモデルやイノ
ベーションを生み出す

世界で活躍する選
手・審判・コーチ・
スタッフの輩出

魅力的かつ働きや
すい選ばれる業界

バスケで未就学児
を笑顔に

ワクワクする
ライブ観戦が人を
惹きつける

青少年の運動実施率
向上

バスケが雇用活性化
を推進する

世界に誇れる
リーグ・競技会

支える人たちの
ステータス向上

バスケが学校生活
を充実させる

応援スタイルの
多様化

女性がより輝く
ロールモデルになる

バスケが地域の魅力
を高め活性化する

競技発展にむけた
環境の充実

信頼される個人・
信用される組織

バスケが QOL を
高める

バスケが繋げる
コミュニティの形成

バスケ人材が様々な
ステージで活躍する

バスケベニュー・ア
リーナを核とした街
が全国各地に溢れる

ライセンス制度の
拡充

健全な財務体質

身近に溢れる
バスケコート

ファッションをはじめと
するクロスカルチャー
として楽しめる

自然環境を意識した
取り組みの実践

バスケが定住・移住の
きっかけとなり促進
される

クリーン・バスケット
クリーン・サ・ゲーム
の浸透

事業性のある組織
で成長し続ける

データで楽しむ
バスケ

様々なエンターテイ
ンメントとの融合

バスケ先進国として
国際貢献を行う

バスケツーリズムの
確立

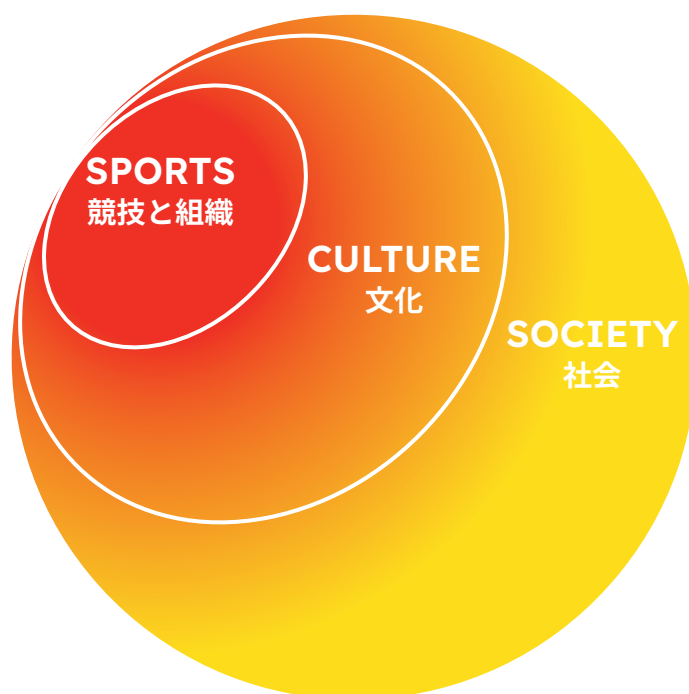
7. 2030年のあるべき姿

3つの領域 / THREE CORE DOMAINS

「バスケで日本を元気に！」

これはどんなに時代が移り変わっても決してぶれることのない理念であり原点です。

しかし、「バスケで日本を元気に！」が果たす役割、求められる役割は時代の変化とともに多様化しています。その広がりをもっと正しく捉えバスケットボール界が果たすべき責任とその価値を再確認し、未来へつなげるための新たなスタンダードとして『SPORTS：競技と組織』『CULTURE：文化』『SOCIETY：社会』の3つの領域を設定し、それぞれのビジョンを策定しました。



SPORTS：競技と組織

バスケが日本スポーツをリードするにふさわしい競技であり続けるために「国際競技力の向上」や「競技・事業環境の進化と適応」、「クリーンな組織体制の強化」を進める。

CULTURE：文化

バスケが文化として日本全体に根づくことで、「する」「観る」「携わる」「語る」「育む」あらゆる人々にとって身近な存在であり続け、形成される無数のコミュニティで、すべての人の毎日を彩る。

SOCIETY：社会

バスケが地域や産業活性化に必要な不可欠なインフラになることで、これからもずっと社会に受け入れられ、未来に向けた持続可能で豊かな社会を実現する。

この3つの領域はそれぞれ独立したものではなく、バスケットボール競技の発展に加え関わる組織や個人が中心となり、スポーツとして発展させることでバスケットボールを文化として育み、その広がりが社会に受け入れられ必要とされていく。そういった社会とのつながりがスポーツや文化を支える——こうした好循環を作り出すことで2030年に「バスケで日本を元気に！」の理念を実現したいと考えています。

7. 2030年のあるべき姿

3つの共通概念 / THREE COMMON VALUES

JBS2025では、理念を具体化するために定めた3つの領域「SPORTS（競技と組織）」「CULTURE（文化）」「SOCIETY（社会）」と、それぞれの領域でバスケット界が目指すビジョンに加え、その方向性を象徴する構成キーワード、そして、日々の行動の指針となる3つの共通概念、「DIVERSITY & INCLUSION（多様性と包括）」「COMPLIANCE & INTEGRITY（法令順守と誠実さ）」「DIGITAL TRANSFORMATION（デジタル変革）」で構成しています。

バスケットで日本を元気に！

3つの領域 / THREE CORE DOMAINS

SPORTS：競技と組織

CULTURE：文化

SOCIETY：社会

キーワード / KEYWORDS

夢 / 憧れ / 感動 / 誇り /
安心・安全

笑顔 / 楽しむ / 日常 /
コミュニティ

持続可能 / 共生・共栄 /
ウェルビーイング

3つの共通概念 / THREE COMMON VALUES

DIVERSITY & INCLUSION：多様性と包括

多様な人々がそれぞれの形でバスケットに関わり、お互いの価値観や個性を認め合い、尊重することでバスケットの楽しさを分かち合い、バスケットの新たな価値が見い出されること。

COMPLIANCE & INTEGRITY：法令順守と誠実さ

バスケットに関わるすべての人が誠実であり、誰もが安心して関われるよう、法令や規範を順守した組織を築くことで、バスケット界が信用・信頼され、スポーツ界そして社会の模範となる。

DIGITAL TRANSFORMATION：デジタル変革

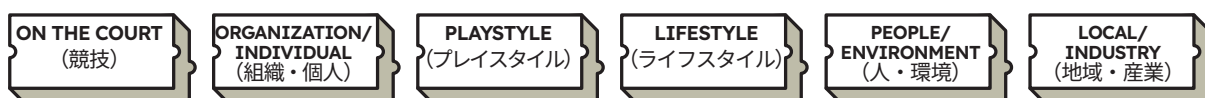
育成・指導・組織運営・観戦体験など、あらゆる場面でデジタル技術を積極的に活用し、情報の体系的な整理や業務効率化、イノベーションの創出を通じて、バスケットの価値を最大化し可能性を拡大する。

7. 2030年のあるべき姿

6つの関わり方/SIX AREAS OF PARTICIPATION

ビジョンフレームに基づき、「誰が」「どこで」「どのように」という視点から、3つの領域と共通概念をより具体的かつ実践的にするために、6つの関わり方に分類しています。

6つの関わり方/SIX AREAS OF PARTICIPATION



SPORTS：競技と組織

ON THE COURT (競技) バスケットボール競技に関連する領域。

ORGANIZATION/INDIVIDUAL (組織・個人) 日本のバスケットボール界を支える人と組織の領域。

CULTURE：文化

PLAYSTYLE (プレイスタイル) さまざまな年齢や立場を問わずバスケットボールを楽しむこと。

LIFESTYLE (ライフスタイル) 日常や生活にバスケットボールの文化が溶け込むこと。

SOCIETY：社会

PEOPLE/ENVIRONMENT (人・環境) 社会の中で暮らす人々や環境のウェルビーイングが生まれること。

LOCAL/INDUSTRY (地域・産業) バスケットボールが地域社会や産業界に貢献する価値づくり。

7. 2030年のあるべき姿

36の行動・状態 / 36 TARGET ACTIONS AND STATES

最後に、2030年の目標として目指すべき状態とあるべき姿をそれぞれ6項目、合計36の行動・状態にまとめています。

これらの6つの関わり方とそれぞれの項目は個別のテーマに応じたアクションを導くものであると同時に、それぞれが点として存在するのではなく点と点がつながって線に、さらには面となり、またその積み重ねにより平面的ではなく立体的になることで、より広く・深く・強いものとなり「バスケで日本を元気に！」を実現していくものと考えています。

6つの関わり方 / SIX AREAS OF PARTICIPATION

ON THE COURT (競技)	ORGANIZATION/ INDIVIDUAL (組織・個人)	PLAYSTYLE (プレイスタイル)	LIFESTYLE (ライフスタイル)	PEOPLE/ ENVIRONMENT (人・環境)	LOCAL/ INDUSTRY (地域・産業)
----------------------	--	------------------------	------------------------	----------------------------------	-------------------------------

36の行動・状態 / 36 TARGET ACTIONS AND STATES

日本代表が世界の強豪でありつづける	バスケットボールファミリープライドの醸成	一生バスケに関われる	視聴トップコンテンツになる	バスケを通じて交流・活力が生まれ健康寿命が延びる	バスケ界が新しいビジネスモデルやイノベーションを生み出す
世界で活躍する選手・審判・コーチ・スタッフの輩出	魅力的かつ働きやすい選ばれる業界	バスケで未就学児を笑顔に	ワクワクするライブ観戦が人を惹きつける	青少年の運動実施率向上	バスケが雇用活性化を推進する
世界に誇れるリーグ・競技会	支える人たちのステータス向上	バスケが学校生活を充実させる	応援スタイルの多様化	女性がより輝くロールモデルになる	バスケが地域の魅力を高め活性化する
競技発展にむけた環境の充実	信頼される個人・信用される組織	バスケがQOLを高める	バスケが繋げるコミュニティの形成	バスケ人材が様々なステージで活躍する	バスケベニュー・アリーナを核とした街が全国各地に溢れる
ライセンス制度の拡充	健全な財務体質	身近に溢れるバスケコート	ファッションをはじめとするクロスカルチャーとして楽しまれる	自然環境を意識した取り組みの実践	バスケが定住・移住のきっかけとなり促進される
クリーン・バスケット・クリーン・サ・ゲームの浸透	事業性のある組織で成長し続ける	データで楽しむバスケ	様々なエンターテインメントとの融合	バスケ先進国として国際貢献を行う	バスケツーリズムの確立



バスケで日本を元気に！

8. あとがき

INSPIRING, EXPANDING AND DEVELOPING BASKETBALL TO ENERGIZE JAPAN AND ITS FUTURE.

バスケットボールには、
心を動かし、人を動かす力があります。
その力は、地域を、そして世の中を照らし、
社会に希望を届ける力を持っています。
私たちはこのスポーツが持つ可能性を信じて、
これまでも歩みを進めてきました。
ボールを追いかける子どもたちも、
夢を追いかける選手たちも、
このスポーツを支える多くの人たちも、
それぞれのバスケットボールがそこには存在し、
その人々の想い。
すべてのバスケットボールファミリーとともに——
これからの日本の未来を、
私たちはもっと元気にしていきます。

バスケで日本を元気に！ JAPAN BASKETBALL STANDARD



「JAPAN BASKETBALL STANDARD」は、日本のバスケットボールの未来を輝かせるために、バスケットボールに関わるすべての人が「バスケで日本を元気に！」というひとつの理念にむかい、ひとつのチームとして持つべき「志」、目指すべき「目標」、行うべき「行動」を示したものです。日本バスケットボール協会が設立100周年を迎える2030年にむけてビジョンを描き、目指すべき姿を掲げています。



バスケ JBS



SPORTS

【競技と組織】バスケが日本スポーツをリードするにふさわしい競技であり続けるために「国際競技力の向上」や「競技・事業環境の進化と適応」、「クリーンな組織体制の強化」を進める。

CULTURE

【文化】バスケが文化として日本全体に根付くことで、「見る」「接する」「語る」「育む」あらゆる人々にとって身近な存在であり続け、形成される無数のコミュニティで、すべての人の毎日を彩る。

SOCIETY

【社会】バスケが地域や産業活性化に必要な不可欠なインフラになることで、これからもずっと社会に受け入れられ、未来に向けた持続可能で豊かな社会を実現する。

JAPAN BASKETBALL STANDARD 2025

「バスケで日本を元気に！」これは、どんなに時代が移り変わっても、決してぶれることのない理念であり、原点です。

しかし、2016年にJBSを策定してから10年が経とうとする今、「バスケで日本を元気に！」が果たす役割、求められる役割は時代の変化とともに多様化しています。

JBS2025では、「バスケで日本を元気に！」の理念を具現化し、その広がりを正しく捉え、バスケットボール界が果たすべき責任とその価値を再確認し、未来へつなげるための新たなスタンダードとして、『SPORTS: 競技と組織』『CULTURE: 文化』『SOCIETY: 社会』の3つの領域を設定し、それぞれのビジョンを策定しました。

また、それぞれの領域に共通する概念として、『DIVERSITY & INCLUSION (多様性と包括)』『COMPLIANCE & INTEGRITY (法令順守と誠実さ)』『DIGITAL TRANSFORMATION (デジタル変革)』を掲げています。

JBS2025に描いた未来を現実のものとし、「バスケで日本を元気に！」を実現するために、JBAは、B.LEAGUE、W.LEAGUE、都道府県協会、各種連盟、パートナー、ファンや地域の方々など、すべてのバスケットボールファミリーの皆さまとともに、より良い日本のバスケットボールの未来を創り上げていきます。



バスケで 日本を元気に！

